

News Letter

vol.25
2019. 5月号

毎月発行

令和元年

今月のよっしー

今月は韓国の家庭医Paek先生をお迎えして串間と田野で交流しました。受け入れをしていただいた皆様ありがとうございます。韓国では大病院を中心とした医療システムで、へき地医療や在宅医療は発展途上であることがわかりました。一方で、ICTや医学教育はかなり進んでいました。京都で開催されたWONCA/JPCA学会でもたくさんの刺激をもらいました。海外に行かずとも自国の良さや課題がわかるのは交流事業の良い点です。時代に応じて、様々な学びを積み重ねて教育・診療・研究をどんどんバージョンアップして行かねばと強く思いました。

ただいま、当講座では指導医・専攻医を募集しています。総合診療医を本気で育てる熱い思いのある方、ぜひご連絡ください！お待ちしております。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介「平田東九州病院」

平田東九州病院 地域包括ケア実習担当医師 田端 英俊 先生

当法人は、「自分が受けたい医療、または家族に受けさせたい医療を目指します」を理念に掲げ、125床の平田東九州病院での医療サービス、老健施設、有料



老人ホーム、通所介護、通所リハビリの各介護保険サービスを地域の皆様に提供しております。

私自身、福岡出身で延岡とも宮崎とも縁も所縁もありませんでしたが、ふとしたきっかけで延岡の地域医療に触れる機会があり、微力ながらも貢献したい！と思ったことが延岡で働くことにした理由でした。実習に来られる学生の皆さんにも、地域医療のリアルな姿をまずは見て・触れていただきたいと思います。



講座スタッフ紹介⑨



専攻医 枝元 真人

串間市民病院 総合診療科 後期研修1年の枝元 真人と申します。出身は宮崎県ですが、他県の大学で機械工学を学びエンジニアとして勤務した後に、宮崎大学医学部で学び、医師となりました。沖縄県で2年間の初期研修を終え、今年4月より宮崎大学地域医療・総合診療専門医プログラムに参加させていただいております。

沖縄での2年間は急性期医療が全てでしたが、串間市に来て地域の医療に携わることの面白さと難しさを痛感しています。1人の臨床医として患者さんに寄り添うことはもちろん、宮崎をより良くするために、医学教育や地域の連携にも力を入れていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「地域医療学」(2年生)の講義を行いました。

「地域医療学」は3年間に亘る講義ですが、2年生最初の講義は4月11日(木)に開催しました。家庭医療専門医で当講座非常勤講師であるにちなんファミリークリニック所長である飛松正樹先生を講師にお迎えして「地域医療とプロフェッショナルリズム」をテーマに講義をしてもらいました。自己紹介からはじまり、様々な状況を具体的に提示されて、「どう考える？」と問いを発して3人で議論をするスタイルで、徐々に医学生を引き込んでいきました。

2回目の講義は5月8日(水)に開催しました。当講座の松田俊太郎先生による「医療コミュニケーション」をテーマとした講義でした。ロールプレイとシナリオを使いながら学生とインタラクティブな授業を進められ、がん末期で入院中の状況を関係者でロールプレイすることでコミュニケーションの大切さ、ご本人の意向を理解する大切さ、現実的なプランの理解などたくさんの学びがありました。また解剖学や生化学といった座学と臨床現場での学びが実はリンクしていることを具体的なポイントをつきながら解説していました。6～8名でのグループになって真剣にプランを出す姿を見て、昨年からの成長を感じました。



▲飛松先生による講義



▲松田先生による講義

妻湯プロジェクト「ごちゃまぜ遠足 & 成果報告会」が終了しました。

3年に亘って開催してきた「妻湯・ごちゃまぜプロジェクト」の成果報告会と最後のごちゃまぜ遠足を5月12日(日)西都市にて開催しました。成果報告会では、学生(医学科・看護学科)9名のほか、西都の関係者、大学関係者など総勢51名の参加をいただきました。

成果報告会では3年間の取り組みについて吉村教授が説明、続いて参加した学生2名から感想を発表していただきました。実際の参加活動を報告していただきましたが、「自分が持っていなかったものの見方・考え方に触れることができた」、「医療や福祉の連携について学ぶことができた」などの感想をもらいました。

続く全体交流会では、妻湯温泉内のレストランに移動し、食事をとりながら意見交換や交流をしていただきました。終了後、学生が2～3人1組で調殿地区の住民宅を訪問する最後の「遠足」を開催し、それぞれのお宅でお手伝いや健康に関する講話などで交流を深めました。

学生からは「地域に住む人を対象とした看護や保健指導に興味があるので、良い学びをさせてもらった」、「看護学生と一緒に訪問しお話を伺うことで、自分と違った考え方を知ることができた」、「地域の方々が本当は何を感じているのかという“本音”のようなものにふれることができたような気がする」などの感想をいただきました。

本プロジェクトには、(株)日南をはじめ、西都市の関係者の皆様の厚いご理解のもと、3年間で延べ493名の参加をいただきました。学生は「地域医療に大切なもの」を学ぶことができ、また、当講座としても行政・議会関係者・住民の皆様とのつながりを得ることができた貴重なプロジェクトでした。本事業に関わっていただいたすべての方々に感謝します。ありがとうございました！



講座のイベント情報

- これからの都農のまちづくりを考えるフォーラム
(主催：都農未来まちづくり推進機構)
6/2(日) 13:30～ 場所：都農町塩月記念館
 - 災害医療講演会
6/3(月) 17:00～ 場所：宮崎大学医学部
 - レジデントデイ
6/28(金) 18:00～ 場所：串間市民病院
- ※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail: chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

